

広島中央ロータリークラブ

2020－2021年度事業計画

【2020～2021年度 広島中央ロータリークラブ所属委員会】

■理事役員

(2020.7.1-2021.6.30)

会 長	(理事) 芥川 宏	奉仕プロジェクト	(理事) 山野井秀樹
直前会長	(理事) 福田 浩	ロータリー財団	(理事) 杉本 嘉朗
会長エレクト	(理事) 大久保雅通	クラブ広報	(理事) 下原 千夏
副会長兼会員組織	(理事) 砂田 恭延	クラブ管理運営	(理事) 鳥井 均城
幹 事	(理事) 大坂 隆志	会 計	(理事) 好永 裕一
副幹事	淀江晃太郎	S.A.A.	(役員) 大田 由孝
副幹事	大内総一郎		

■会員組織委員会

理事・委員長 砂田恭延

* = 兼務

	委員長	副委員長	委員			
会員増強・職業分類	三宅朗充	緒方俊平	田原榮一	橋本 満	河野 隆	村本憲康
			小佐古哲哉	福田 浩*	山野井秀樹*	
ロータリー情報(研修リーダー)	宗正俊文	鳥井均城*	赤羽克秀	古澤宰治*	吉川修平*	土肥博雄

■奉仕プロジェクト委員会

理事・委員長 山野井秀樹

	委員長	副委員長	委員			
職業奉仕	大井太郎	城本健司*	神保 紘	神田栄治	石原 健	
人間尊重・社会奉仕	松村公市	児玉哲郎	熊野 巧	嶋本文雄	吉清有三	
国際奉仕	吉川 恵	山本昌弘	出崎邦彦	迫田勝明	平松恵一	高蓋寿朗
青少年奉仕	七枝敏洋	土谷治子	藤村欣吾*	頼岡徳在	村上恒二	山本昌弘*
ローターアクト委員会	西井裕昭	古澤宰治	黒瀬真一郎	田中純子	宗正俊文*	三宅朗充*

■ロータリー財団委員会

理事・委員長 杉本嘉朗

	委員長	副委員長	委員			
ロータリー財団・米山奨学	安藤徹哉	西川 済	吉川修平*	長場 誠*		

■クラブ広報委員会

理事・委員長 下原千夏

	委員長	副委員長	委員			
クラブ会報・資料保存	長場 誠	政岡誠二*	徳見泰司*	好永裕一*	大内総一郎*	宮下佳昌
広報	新宮且識	池田繁実	上原悠爾	岡田 茂		
I T	城本健司	澁谷紀子	通谷 章	木下三枝子		

■クラブ管理運営委員会

理事・委員長 鳥井均城

	委員長	副委員長	委員			
出席	西川公一郎	柳川寿子	城川大二郎	木下三枝子*		
親睦	平瀬春男	桂 嘉彦	大内総一郎*	上田 恵*	政岡誠二*	西川 済*
			西川公一郎*	小林正夫*	高蓋寿朗*	加藤孝子*
			宮下佳昌*	石原 健*		
プログラム	政岡誠二	戸田幹雄	松村公市*	原田啓吾	山肩俊晴	上田 恵
S. A. A.	大田由孝	榎崎哲也	城本健司*	児玉哲郎*	池田繁実*	桂 嘉彦*
			加藤孝子			
会計	好永裕一	澁谷紀子*	徳見泰司			

特別委員会

	委員長	副委員長	委員			
国際交流基金特別委員会	芥川 宏*	大坂隆志*	迫田勝明*	嶋本文雄*	吉川 恵*	澁谷紀子*
			好永裕一*			
戦略計画委員会	藤村欣吾	吉川修平	田原榮一*	赤羽克秀*		
がん予防啓発推進委員会	小林正夫	土肥博雄*	迫田勝明*	平松恵一*	山肩俊晴*	土谷治子*

○会計監査委員 河野 隆

○合同事務局運営委員 大坂隆志

会員組織委員会

理事・委員長 砂田 恭延



1. 方針

会長方針の「原点も踏まえ 力を新たに」の趣旨をよく理解して会員組織委員会の活動を展開してまいります。ロータリー活動の原点を再確認した上で目標を掲げ、会員増強の拡大、また会員の皆様がロータリークラブを楽しめるよう、広報委員会と連携し有益となるロータリー情報を発信してまいります。

2. 計画

- ①会員数純増3名以上を目指し積極的な会員拡大を行っていきます。
- ②クラブ研修セミナー、ファイヤーサイドミーティングの充実に加え、新会員の同好会への入会を積極的に促します。
- ③会員の皆様へロータリー情報の発信を実施してまいります。

会員増強・職業分類

委員長 三宅 朗充



1. 方針

芥川会長の会長方針「原点も踏まえ 力を新たに」を踏まえ委員会活動に邁進したいと思います。新入会員が増えることは、広島中央ロータリークラブの活力につながることになりますが、同時に既存の会員の退会を防ぐことも念頭において活動していく所存です。

新型コロナウイルスの影響もあり会員維持も念頭に、会員相互の連携も必要であると考えています。

2. 計画

委員長自らが積極的に取り組むとともに、会員の皆さまお一人おひとりが、会員増強を意識していただき、日々お会いする方々に広島中央ロータリークラブの仲間になるようお声がけをお願いします。会員に対しては、その行動に結び付けていただける雰囲気づくり、意識づくりに力を入れます。新型コロナウイルスの影響も考慮し、会員相互の連携と退会防止に努めていく所存です。

ロータリー情報

委員長 宗正 俊文



1. 方針

会長方針である「原点も踏まえ 力を新たに」を踏まえ、新会員の方々にはわかりやすいロータリーの情報提供をし、入会3年未満の方々にはロータリー活動への更なる興味と理解を深めていただけるよう、戦略計画委員会と連携しながら各種の活動を実施します。

2. 計画

- ①入会予定者へは推薦者とともに訪問し、ロータリーへ興味を持ていただけるよう、わかりやすいインフォメーションを実施します。また入会後も推薦者とともに新会員のフォローをしてまいります。
- ②新会員を対象に、クラブの雰囲気早く馴染んでいただけるよう、またロータリーの基礎知識をわかりやすく学び、気軽に楽しく話し合える、少人数でのファイヤーサイドミーティングを実施します。
- ③戦略計画委員会と連携し、入会3年未満の会員の方々を対象とした、クラブ研修セミナーを年2回実施します。ロータリーの代表的なテーマを取り上げ、ロータリーに関する興味と知識を深めていただきながら、会員同士の親睦・交流を深めていただけるような研修を企画します。
- ④R I の新たな情報がありましたら、例会等で報告し、またHPへも掲載していきます。

3. 予算 50,000円

奉仕プロジェクト委員会

理事・委員長 山野井 秀樹



1. 方針

クラブ会長方針「原点も踏まえ 力を新たに」を念頭に置き、広島中央ロータリークラブの伝統に基づいた多様な奉仕活動を展開し、会員全員がロータリアンとしてのスキルアップにつなげる為の様々な奉仕活動に取り組んでいきたいと考えます。

2. 計画

- ①職業奉仕委員会では、職場訪問例会の実施や優良従業員表彰例会を開催します。また月に一度例会で4つのテストの唱和、ロータリアンの行動規範の唱和をし、会員意識の向上にも努めます。そして、会員の健康維持のために健康診断の斡旋も行います。
- ②人間尊重・社会奉仕委員会では、地区補助金を利用した事業実施。また長年継続している献血・マイカー乗るまッダー運動の実施についての検討。8・6原爆平和式典参列者おもてなし事業の実施を検討します。
- ③国際奉仕委員会では、古切手・書損じはがき収集の継続。グローバル補助金事業の申請内容の検討をします。
- ④青少年奉仕委員会では、RYLA地区大会への積極的な参加を呼び掛けていきます。

- ⑤ローターアクト委員会では、広島中央ロータリーとしてローターアクト継続をする為の支援方法の検討や広島中央ロータリー会員とアクトとのかかわり方について検討します。

職業奉仕

委員長 大井 太郎



1. 方針

2020-21年度国際ロータリー会長であるホルガー・クナーク氏はロータリーを成長させ、より強く、適応力を高める必要性を強調しました。我々広島中央ロータリーは創立41年、改めて会員それぞれが「奉仕と親睦」というロータリークラブの原点を踏まえ、職業奉仕の考え方や取り組みを知り、学び、発信し、会員同士のつながりをより一層深めていきたいと考え、芥川会長方針の「原点も踏まえ 力を新たに」のテーマの基に、今一度基本に立ち戻り、下記の取り組みを行います。

2. 計画

- ①職業や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針として「四つのテスト」「ロータリアンの行動規範」を、毎月例会において唱和します。
- ②職業奉仕月間に、職業奉仕の理解を深めるために、効果的な勉強会と職場訪問例会を実施します。
- ③プログラム委員会と連携し、職業スキルの向上に務めるよう会員卓話の実施を図ります。
- ④職業奉仕の原点でもあります、健康保持のため健康診断の斡旋を行います。
- ⑤会員の職業奉仕実践に貢献した優良従業員の募集・表彰を行います。

3. 予算

一般会計 100,000円
ニコニコ会計 120,000円

人間尊重・社会奉仕

委員長 松村 公市



1. 方針

会長方針に乗っ取り「奉仕と親睦」を原点ととらえ、当委員会は、奉仕に積極的に取り組む事を目標とし、行動していきたいと考えます。

また、「新たな力を発揮する事」を念頭に、これまでの奉仕だけでなく、今の時代に必要と思われる奉仕が何かを議論しながら今必要な奉仕を行う様に努めていきたいと考えます。

2. 計画

- ①街頭での「献血キャンペーン」と、「マイカー乗るまゝデー」の街頭PR活動を実施します。
- ②青少年奉仕委員会と協働し、広島県の8大学生に「献血キャンペーン&マイカー乗るまゝデー」へ参加の認定証を配布し、各大学グループへの感謝状と、記念品を贈呈し、意見交換しながら学生との交流を深める。
- ③温暖化対策としてCO2削減と、環境問題の推進を目指して「エコ・ドリーム運動」に継続して取り組みます。
- ④ケニアのモヨ・チルドセンターへの支援を地区補助金にて当クラブとしても支援していきたい。
- ⑤広島市主催の広島平和式典に参加された市民たちにひと時の休憩と癒しを提供するおもてなし事業を継続します。

3. 予算 1,500,000円

国際奉仕

委員長 吉川 恵



1. 方針

会長方針である「原点も踏まえ 力を新たに」に基づき、独自性を生かす奉仕活動に取り組みます。

また、会員の保有する専門性を活かした活動により、国際社会に、健康、教育、青少年育成、交流の促進に関する貢献を行い、将来へ向けた社会づくりに寄与することを基本方針とします。

従来から取り組んでいる国際奉仕活動の継続と、クラブ内や他クラブ・団体との連携事業の実施に向け検討します。

2. 計画

- ①古切手、書き損じはがき等の収集の継続
発展途上国の女性や子供たちを支援する国際奉仕活動を行います。
- ②グローバル補助金を活用した支援を将来わがクラブで行うことを目標に、地区補助金を活用したケニア、モヨチルドレンセンターへの支援活動を行います。
この活動は人間尊重・社会奉仕委員会と連携して行います。
- ③姉妹クラブ、他クラブとの交流・連携
台中市西区ロータリークラブとの交流ならびに他のクラブと連携した奉仕事業を検討します。

3. 予算 775,000円

青少年奉仕

委員長 七枝 敏洋



1. 方針

会長方針である「原点も踏まえ 力を新たに」を認識しロータリー青年指導者養成プログラム(RYLA)を学び、会員・青少年・ローターアクトクラブと共に連携を図り活動して参ります。関わるみんなが楽しく奉仕活動を行い、より良い地域社会への一助となるよう目指します。

2. 計画

- ①2010年から継続しています「献血支援活動、マイカー乗るまあデーPR活動」を、会員の皆さんとの縁を更に大切に、会員・会員家族・ローターアクト、会員の従業員の皆さん、学生ボランティアの皆さんと共に協力して行います。
- ②ローターアクトクラブ例会・RYLAに参加し、青少年奉仕について効果的な活動を検討します。

3. 予算

一般会計 100,000円
ニコニコ会計 200,000円

ローターアクト

委員長 西井 裕昭



1. 方針

広島中央ローターアクトクラブは2017年4月6日に設立されました。当時、11名のチャーターメンバーでスタートしたアクトクラブも、本年度のスタート時は9名(うち日本人6名、中国人3名)となります。会長方針である「原点も踏まえ 力を新たに」に基づき、今一度、ローターアクトクラブの目的を達成できる活動を見直し、継続可能なローターアクトクラブを作っていきます。

2. 計画

- ①ローターアクトクラブメンバーが、自主的に活動が出来るよう支援を行います。
- ②ローターアクトクラブの目的・目標が達成できる活動が出来るよう支援を行います。
- ③ローターアクトクラブの会員増強に努めます。

3. 予算

1,000,000円

ロータリー財団委員会

理事・委員長 杉本 嘉朗



1. 方針

ロータリー財団の設立目的である、「世界でよいことをしよう」を実践する為に、ロータリー財団及び米山記念奨学会に対する会員の理解を深め、協力をお願いする。

2. 計画

- (1)ロータリー財団、米山奨学会への寄付金目標を達成する。
- (2)財団月間の卓話時間を利用し、奉仕プロジェクト委員会と協力し、次期地区補助金事業、グローバル補助金事業について、フォーラムを行い、会員の意思の統一化を図りたい。

ロータリー財団・米山奨学

委員長 安藤 徹哉



1. 方針

「世界でよいことをしよう」という目的をもって設立されたロータリー財団、及び、母国と日本の架け橋となり国際社会で活躍する留学生の援助を目的として設立された米山記念奨学会の理解を深めてもらう。

2. 計画

- (ア) 寄付目標
 - a 年次寄付150ドル/人
 - b ベネファクター1人/クラブ
 - c ポリオプラス35ドル/人
 - d 米山基金16,000円/人
- (イ) 定例会の委員会報告
 - a ロータリー財団及び米山記念奨学会の情報を提供する。
ロータリー財団について、ポリオプラスをはじめ世界でよいことをしている事例を紹介する。また、グローバル補助金の獲得に向けて実際に補助金を獲得した他クラブの活動事例を報告する。
 - b ロータリー財団室News、ハイライト米山を配布する。
 - c 愛のコイン箱のお願い。
- (ウ) 米山月間
 - a 直近の米山記念奨学会の情報を提供する。
 - b 米山功労者の募集。
- (エ) ロータリー財団月間
 - a ポールハリスフェロー・マルチプルポールハリスフェロー認証促進運動を実施する。5名を目標に協力要請を行う。

b 財団の説明に関する卓話を行う。

(オ) 地区補助金

次年度以降の地区補助金対象事業の立案について、奉仕プロジェクト委員会をサポートするとともに地区補助金の給付を受ける。

3. 予算 200,000円

クラブ広報委員会

理事・委員長 下原 千夏



1. 方針

クラブ広報委員会では、会長方針「原点も踏まえ 力を新たに」の“原点”を示す、「奉仕と親睦」の活動記録の発信や記録保存を行う役割を担うと思う。そのためには、「クラブ会報・資料保存委員会」「広報委員会」「IT委員会」の各委員会が連携し、会員の皆様に喜んで頂ける会報誌やホームページの作成と管理を行い、当クラブの活動を内外に発信して行きます。

2. 計画

・クラブ会報・資料保存委員会

出来るだけ新鮮な情報を掲載するために、事務局や他の委員会の協力頂き、タイムリーな情報収集と発信を行います。

・広報委員会

当クラブの活動をメディアで発信するためには、まず活動内容の精査を行い、適時掲載の依頼が出来るように、現行通り記者との連携を継続して行います。

・IT委員会

クラブ会報・資料保存委員会と連携し、ホームページの更新をリアルタイムに行います。そして、現ホームページを更にグレードアップするために、管理方法含むプラットフォームの改善についても検討して行きます。

引き続きMY ROTARYへの登録・利用の促進を図ります。

クラブ会報・資料保存

委員長 長場 誠



1. 方針

クラブ及びロータリークラブの活動、地区やその他ロータリーに関連する行事等について、正確に記録するとともに、読みやすく楽しめる会報を作成したいと考えています。

クラブの史料にはデータ化されていない紙媒体の記録があると聞いています。こういった紙媒体について、その保存等を検討する予定です。

2. 計画

会報誌の仕様は昨年度のもので問題はないと考えており踏襲する予定です。表紙は当該月の代表的な写真やロンガルス同好会のメンバーの作品等を掲載します。該当月のプログラムに因んだ会長コラム、ロータリーアクトクラブの活動報告は昨年度に引き続き掲載する予定です。

誌面が限られていますが、他委員会と連携しながら会員の皆様に十分な情報を伝えていきたいと考えています。

3. 予算 2,090,000円

広 報

委員長 新宮 且識



1. 方針

会長方針の「原点も踏まえ、力を新たに」を踏まえ、本年度予定されている当クラブの活動内容を各委員会と連携して情報を内外に発信し、我々広島中央ロータリークラブの認知度向上を図る。

2. 計画

- ①各委員会と連携して早めの情報収集を行い、正確に情報を発信する。
- ②マスメディアに取り上げてもらえるように、タイムリーな情報をPRしていく。
- ③「ロータリーの友」、「ロータリーアットワーク」への投稿をする。
- ④中国新聞等の地元メディアに取材をしていただけるよう、積極的に働きかけていく。

3. 予算 50,000円

I T

委員長 城本 健司



1. 方針

芥川会長の方針の「原点も踏まえ 力を新たに」に沿い、ロータリークラブの原点と広島中央ロータリーの独自性と良いところを、会員相互間の情報共有に、そして外部から閲覧される方々にも伝わるようなHP作りに努めて参ります。

2. 計画

クラブ会報・資料保存委員会と連携して、当クラブの様々な活動を当クラブのHPにタイムリーに更新していき情報発信していくとともに、資料保存を行って行きます。

現ホームページを更にグレードアップするために、IT委員会を中心にクラブ会員が情報発信や情報管理にも関与でき

ようなプラットフォームの改善についても検討していきます。
MY ROTARYへの登録・利用の促進を図ります。
MY ROTARYや「ロータリーの友」電子版を利用して、国際ロータリーの活動をクラブ内にも広めていきます。

3. 予算 1,000,000円

クラブ管理運営委員会

理事・委員長 鳥井 均城



1. 方針

会長方針である「原点も踏まえ力を新たに」に基づき、クラブの原点を踏まえ他クラブとは違う独自性・良いところの特徴を活かしながら、クラブ活動が楽しく笑顔溢れる空間になるようにすると共に、例会を楽しんで頂けるよう、クラブ管理委員会全員で運営に尽力する。

2. 計画

- ①出席委員会、例会に興味を持って出席頂くよう翌月の行事等の案内を行うと共にメイキャップや、eクラブの案内をして100%出席を維持する。
- ②親睦委員会、クラブ活動が楽しく笑顔溢れる空間になるよう取り組みます。
- ③プログラム委員会、今年度は新入会員を中心にクラブ内、他クラブの会員様また関係者の方の卓話を実践して行きたいと思います。
- ④SAA委員会、ニコニコ箱が例会運営において、大きな役割であることを理解していただき、会員の皆様が進んで投稿していただけるよう運営していきます
- ⑤会計委員会、予算編成の段階から会長・幹事・各理事との連携を図り、不測の事態にも臨機応変に対応出来るようにする。

出席

委員長 西川 公一郎



1. 方針

会員の皆様が、楽しく興味を持って例会に参加できるよう、SAA・親睦の皆さんと連携して、出席率100%が維持できるように進めていきます。

やむを得ず例会を欠席された方には、メイキャップ等の案内の連絡を取らせていただきたいと思います。

毎週の出席報告は、委員全員で連携を取りながら進めていきます。

2. 計画

- ①例会での出席報告を速やかに行えるように、委員間での連携をとりたいと思います。

- ②月末の例会時の出席報告の際には、興味を持っていただけるよう、翌月の行事の案内も行いたいと思います。
- ③例会を欠席された会員の方には、メイキャップの案内と共に、eクラブの案内もしたいと思います。

3. 予算 200,000円

親睦

委員長 平瀬 春男



1. 方針

会長方針「原点も踏まえ力を新たに」に基づき、クラブ活動が楽しく笑顔溢れる空間になるように取り組んでまいります。

会員同士の親睦を今まで以上に深める為に、親睦会・家族会・新入会員歓送迎会の運営に尽力まいります。

一年間を通してたくさんの笑顔に出会えるように、親睦委員会で積極的に活動していきたいと考えております。

2. 計画

- ① 8月22日 親睦家族会
- ②11月 夜間例会 (創立42周年記念会例会)
- ③12月 夜間家族例会 (クリスマス会)
- ④ 6月 最終夜間例会 (点鐘引継)
※新入会員歓送迎会 随時開催

3. 予算

夜間例会・家族会等補助 3,600,000円
会員記念日費用 800,000円

プログラム

委員長 政岡 誠二



1. 方針

会長方針「原点も踏まえ力を新たに」に基づき、会員の皆様の興味をそそるような、有意義な例会プログラムを実践します。そして例会プログラムを通じて、より深く仲間のことを理解できるように運営していきます。

2. 計画

今まで通り、あらゆる分野からの卓話者にも来ていただきますが、今年度は新入会員を中心にクラブ内、他クラブの会員様、また関係者の方の卓話を実践して行きたいと思います。仲間を知ることにより会員相互の絆が強くなるよう心がけ、計画していきます。

3. 予算 400,000円

S.A.A.

委員長 大田 由孝



1. 方針

会長方針「原点も踏まえ 力を新たに」に基づき、例会の運営を行っていき会員の皆様、そしてゲストで来られた皆様にも広島中央ロータリークラブの例会は楽しい、参加をして良かったと思っていただけるように努めていきます。

2. 計画

- ①例会でのゲスト来客へのおもてなしを親睦委員会と協力して対応していきます。
- ②会員同士が楽しく参加ができるような例会を心掛けます。
- ③ニコニコ箱が例会運営において、大きな役割であることを理解していただき、会員の皆様が進んで投稿していただけるよう運営していきます。
- ④執行部や他の委員会と連携し共働して進めていきます。

3. 予算 100,000円

会 計

委員長 好永 裕一



1. 方針

予算編成の段階から会長・幹事・各理事との連携を図り、不測の事態にも臨機応変に対応出来るような計画を立てていきたいと思います。
また、会計委員会の委員全員で情報を共有していきます。

2. 計画

各委員長には、2018-19年度・2019-20年度の決算報告書を参考に予算を立てていただき、各理事と共に事業計画に基づいた予算が組まれているか確認して、予算に沿った円滑な運営に努めたいと思います。

国際交流基金特別委員会

委員長 芥川 宏



1. 方針

当委員会は、昭和63年(1988年)、当クラブ創立10周年記念事業として広く国際交流への援助を行うことを目的に創設された「広島中央ロータリークラブ国際交流基金(500

万円)」の具体的運営を行うために設立されたものであり、その後、この基金には500万円が追加され、現在1000万円となっています。

そして、当委員会の決定を理事会が承認したとき、国際交流への援助を行う目的のため、拠出金の基金への受入れ及び果実の出金を行うことができるものとされています。

しかし、基金の果実(預金利息)は僅少であるため、2018-19年度には積立分の果実からグローバル奨学生への継続的支援に充てたものの、「広く国際交流への援助を行う」という基金設立の目的に適う活動が十分に行えていないという構造的な問題があります。

2. 計画

会員の意見を取り入れ、基金のあり方(規約の改正等も含む)、基金設立の目的に適う具体的活動について検討していきます。

戦略計画委員会

委員長 藤村 欣吾



1. 方針

会長方針に乗っ取り、時代の流れを読み解き中長期的なロータリー活動を提案してゆく。

2. 計画

- ①自然災害、医療(がん予防、感染症)、貧困(格差社会)、を奉仕活動のキーワードとする。
 - (1)既存の奉仕活動の見直し:存続、改訂、終了を含めて検討する
 - ・献血・マイカー乗るまあデー
 - ・化石燃料削減の取り組み
 - (2)上記キーワードに基づいた新たな奉仕活動の提言～職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕委員会と共同作業
- ②研修活動、教育活動を充実させる～会員組織委員会との作業
 - ・入会3年未満会員への研修セミナーの開催
 - ・ファイアーサイドミーティングの開催
- ③ローターアクトとの連携に関する検討～会員組織委員会との作業

3. 予算 100,000円

がん予防啓発推進委員会

委員長 小林 正夫



1. 方針

がんは本邦死亡原因の第一位(全年齢において30%弱)で

あり,その予防啓発の重要性は明らかです。本クラブでは数年にわたり,がん予防啓発推進に積極的に関わり,アンケート調査をとおして,がんの正しい理解と生活習慣を含めた予防への認識の向上に取り組んでいます。本年度も引き続き,過去4年間の調査と結果をもとに,がん予防に対する意識と生活習慣の問題点を把握し,予防啓発の向上を目的とする。

2. 計画

- ①過去4回のがん予防啓発推進アンケート調査のまとめと解析
- ②解析結果に基づいた問題点提起と具体的予防推進活動
- ③がん予防とがん患者支援に関する卓話の企画
- ④がん拠点病院における公開講座の聴講推進
- ⑤がん予防講演会の企画

3. 予算 80,000円